

民主青年新聞

DEMOCRATIC YOUTH NEWSPAPER

みどころ

勉強シリーズ 裁縫

今こそ輝かせる日本国憲法 第4回

憲法改定めぐる情勢

6、7面

3面

10、11面

▶ ホームページ www.dylj.or.jp ▶ Eメール minsln@dylj.or.jp工夫をこらして広げる平和の共同
全国一斉宣伝行動

高市早苗政権が押し進める改憲策動に抗するため、全国各地の若者憲法集会実行委員会は、「2027年改憲ストップ！若者憲法集会プロジェクト」とりくんでいます。その節目として、6月27日と28日に全国一斉宣伝を行いました。それぞれに工夫をこらしながら行われた宣伝の模様と、宣伝に踏み出した青年の思いを紹介します。

(文中の青年は一部仮名、塩田悠玄記者)

悪天候でも対話次々に

東京の調布狛江府中若

6月27日、28日に宣伝を行

者憲法集会実行委員会は、

い、青年との対話を広げま

法に対する問題意識も持つ

に応じてくれて、いい反応

した。

「憲法改憲止めた

い」との思いから

した。

宣伝では、子育て世代の

女性とも対話になりました

た。「ニュースなどを見る

中で今の状況に危機を感じ

る。子どもがいるから、憲

も青年は立ち止まって対話

法に

28日の宣伝に参加した、

同実行委員会の立川さん(事

務職、28)は、「雨の中で

も青年は立ち止まって対話

法に

「憲法改憲止めた

い」との思いから

した。

「総選挙で自民党が改憲し

ちゃって、自民党は改憲し

たい気持ちでいっぱい。で

も9条とかいろいろ変えら

楽しい参加型で行った

宣伝

埼玉の川越若者憲法集会

ーシカードを書いてくれた

実行委員会は、28日、川越

青年には、同実行委員会の

駅前にテーブルとイスを出

公式LINEの登録も呼び

し、平和への思いを紙(メ

かけ、1人が宣伝の中で登

録しました。

「宣伝では、平和な世界

あっても、あくまで国民に

対して言い訳をしながらし

てきたと思う。でも高市政

権は、選挙で大勝したから

か、体裁も取り繕おうとし

た。「宣伝では、思いはあ

に、別のある青年は、「若

者憲法集会を知っている」

を進めようとしている。そ

れまでの政権より危険に感

じる。自分も何かしたいと

思っていた」と宣伝に参加

した理由を話しました。

参加する側から声

かける側へ

川野さんは、高市政権の

問題に関心を持っている人

たちによるデモなどの行動

は大事だとして上で、それ

だけで青年の中への運動

の広がりについて部分がある

といっています。「戦争反対や

改憲反対の思いを持つ青年

は多いと思うけど、その思

いを心のうちにとどめてい

る青年も多いと思う。問題

意識を持っている一部の人

から、広く一般の青年にま

で運動を広げることも絶対

必要だと思っている。自分

は、これまではデモなどの

集まりに参加する側だった

けど、声をかける側はやっ

てないし、やってみたくい

なと思って宣伝に参加した

と話しました。

初めての宣伝にもかかわらず、

シールボードを活用

しながら積極的に多くの青

年に声をかけた川野さん。

「声をかけてもスルーされ

ることもあったけど、明る

さをなくしたらよくないと

思い、接客業の人をイメー

ジして声をかけ続けた(笑

い)」と前向きにとりくめ

た理由を話しました。

(2面に続く)



▲埼玉の川越若者憲法集会実行委員会の宣伝で、青年がメッセージカードを貼っていったプラボード(6月28日)